

北朝鮮による拉致問題を風化させない。

めぐみへの誓い

映画上映会

令和6年**8.4**(日)

12:00~開場 / 12:45~上映 / 15:00~トークイベント

武蔵野市立

武蔵野芸能劇場 3階 小劇場

JR三鷹駅北口から徒歩1分

入場無料

13歳で突然拉致され、
それまで全く知らなかった国で
今も懸命に生きる横田めぐみさん。

愛する娘の生存を信じて、
救出運動に邁進し続ける滋さん、早紀江さんご夫婦。
二人の幼子を日本に残したまま連れ去られた、
当時22歳の若い母親田口八重子さん。

その他に失踪した人の数は、なんと**883名**にも上ります。

この許されざる事件の真相と、運命に雄々しく立ち向かう人たちの勇気と愛の物語。

武蔵野市のみなさんへ、拉致を知らない若い世代へ、
拉致問題を風化させないためにも、ぜひご覧いただきたく「めぐみへの誓い」上映会を開催します。

同時開催 トークイベント

拉致事件と三多摩

— 他人事ではなく自分事として

荒木和博 [拓殖大学教授]

[聞き手] **金子宗徳** 上映実行委員会代表
亜細亜大学非常勤講師

監督・脚本 野伏 翔

葉月 原田大二郎 石村とも子 大鶴義丹 小松政夫 仁支川峰子 坂上梨々愛 安座間美優 小林麗菜

主催：「めぐみへの誓い」武蔵野市上映実行委員会 共催：武蔵野の平和と安全を守る会

武蔵野市生涯学習事業費補助金交付事業 協賛：特定失踪者問題調査会

綿密な取材に基づいたリアルな描写に涙する。不屈の家族愛の感動作。



解説

横田めぐみさんを中心に、拉致被害者とその家族の苦悩と闘いを描いたドラマ。

劇団夜想会主室の野伏翔が演出・脚本を手がけた舞台劇「めぐみへの誓い 奪還」を、野伏監督のメガホンで映画化。

1977年11月15日、新潟県の中学校に通う横田めぐみは、部活からの帰り道に拉致され、北朝鮮へと連れて行かれる。朝鮮語を覚えたら帰国できるという言葉信じて必死に勉強するめぐみだったが、18歳になった時、その約束が嘘であったことを知り、絶望のあまり精神に破綻をきたしてしまう。

一方、日本に幼い子どもたちを残して拉致された22歳の田口八重子は、若い工作員キム・ヒョンヒの日本人化教育の教師となり、姉妹のように心を通わせていく。しかしキム・ヒョンヒは、大航空機爆事件の実行犯となる。

一方その頃日本では、めぐみの両親とその支援者たちが必死の署名活動を続けていた...

お問合せ先

「めぐみへの誓い」武蔵野市上映実行委員会

事務局：武蔵野の平和と安全を護る会

メール musashino.heiwa.anzen@gmail.com

TEL 070-1255-2014（菊竹 進）

映画とトークのタイムテーブル

12 12:00 開場

開会／挨拶

12:45 上映

めぐみへの誓い

休憩／来賓挨拶／15:00 トーク

トークイベント 拉致問題と三多摩
—— 他人事ではなく自分事として
荒木和博（拓殖大学教授）
コーディネーター・金子宗徳（本会代表）

茶話会も
開きます！

上映会終了後に茶話会を開きます。
感想などを皆さんでお話しましょう。

Tシャツや書籍など
関連グッズの販売も



※収益の一部は特定失踪者問題調査会に寄付させていただきます。